





学会分類 2013	食事の名称 エネルギー量	形態	食事の特徴	1食分の写真
0 j				
0 t				
1 j	嚥下訓練食1 (ゼリー) 120kcal	ゼリー形態 	経口摂取が可能と判断され、障害が強く認められる場合に提供する嚥下訓練開始のための食事。	
2-1	嚥下訓練食2 (ペースト) 1000kcal	ペースト・ミキサー状で、かまなくてよい形態。 	咀嚼・食塊形成が困難な場合や、食物からの水分が咽頭に流入するような場合に提供する食事。 ペースト・ミキサー状で、かまなくてよい形態。	
2-2			食種として設けていないが、嚥下訓練食2で主食をミキサー粥から全粥への変更が可能。	
3	嚥下訓練食3 (とろみきざみ) 1100kcal	柔らかいキザミ状 (3mm前後) 舌でつぶせる形態。(トロミつき) 	咀嚼や食塊形成にやや時間を要する場合に提供し、通常の食事を摂取できるかを推し量ることを目的とした食事。 柔らかいキザミ状 (3mm前後) 舌でつぶせる形態。(トロミつき)	
4	やわらかカット食 1600kcal	容易に噛める形態。(とろみなし) 一口サイズ (2cmきざみ) 	咀嚼や食塊形成が可能であり、転院・退院となった場合に、他の施設や自宅などの形態調整食で十分に対応できるようにするための食事。圧力鍋調理や長時間煮込みにより容易に噛める形態。(とろみなし)一口サイズ(2cmきざみ)	
	ソフト食 1600kcal	容易に噛める形態。(とろみなし) 	咀嚼や食塊形成が可能であり、転院・退院となった場合に、他の施設や自宅などの形態調整食で十分に対応できるようにするための食事。圧力鍋調理や長時間煮込みにより容易に噛める形態。(とろみなし)	